

【事業者向け】放課後等デイサービス自己評価表

公表年月：2022年3月
事業所名：ピノッキーInc.

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。			○	設置基準を満たしておりますが、児童の成長に伴い、窮屈に感じられる場面が多くなってきており、今後はより広いスペース確保のために移転も含め検討して参ります。
	② 職員の配置数は適切であるか。		○		人員基準は満たしておりますが、支援の充実のため増員を検討しております。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。		○		
業務改善	④ 業務改善を進めるための目標設定と振り返りに、広く職員が参画しているか。	○			
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	○			
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	○			ホームページにて公表しております。 (https://www.lankuuno.jp/)
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			○	今後必要に応じて法人として導入を検討していきます。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	○			
適切な 支援の 提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、発達支援計画を作成しているか。	○			
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。		○		アセスメントツールについては、適応年齢や生活状況により有効的な活用に至ってはおりませんが、参考にしながら支援をしています。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか。	○			
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる発達支援計画を作成しているか。	○			
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	○			
適切な 支援の 提供	⑯ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	⑰ 定期的にモニタリングを行い、発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか。	○			
	⑱ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか。	○			
関係機関や 保護者との 連携	⑲ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	○			市役所、相談支援事業所より依頼があった際には、児童発達支援管理責任者が担当者会議等に参加しています。
	⑳ 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	○			
	㉑ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか。			○	医療的ケアを必要とする児童の利用はございません。
	㉒ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○		相談支援専門員が担当する児童については、担当者をはじめとした他機関との情報共有を密に行っています。
	㉓ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			
	㉔ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	○			
	㉕ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。			○	コロナ禍により公共施設等の利用は控えております。
㉖ (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	○				

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	㉘ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	㉙ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか。	○			ペアレントトレーニングについては、必要に応じて行っております。
保護者への説明責任等	㉚ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	㉛ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○			
	㉜ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。			○	保護者参加型のイベントを含め、感染状況を考慮しながら開催を検討します。
	㉝ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	㉞ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。			○	通信やブログを通して日々の様子を発信していきます。
	㉟ 個人情報に十分注意しているか。	○			
	㊱ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	㊲ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。			○	スペースや安全面を考慮し地域住民の招待は行っておりませんが、コロナ禍以前は地域の夏祭り等に参加していました。
非常時等の対応	㊳ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか。	○			
	㊴ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	㊵ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	㊶ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、発達支援計画に記載しているか。	○			自傷や他害等についてやむを得ず身体拘束を行うことある旨を契約時に説明していますが、身体拘束に至った事例が今のところありません。
	㊷ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。			○	食物アレルギーについては、医師からの指示がある児童がおりません。
	㊸ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	○			